

札幌デジタル&どうぶつ・医療・観光専門学校の

人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力（責任感と探求心、及びリーダーとしてのスキルを持っている人）となり活躍している」ことを育成目的とします。

【具体的な就職3年後の姿】

学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を応用し、勤務する職場の環境に合わせて、指示待ちではなく主体的に仕事に取り組み、周囲と協力しながら与えられた目標や業務をやり遂げ、組織の中で必要とされ、誰からも信頼される存在である。

■教育目標

本校は、就職3年後の姿を見据え「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成（能力や意欲の違いを把握した上で、学生個人が持っている能力を最大限に引き出し修得目標達成のために責任を持って指導）することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。

【教育目標を達成するための具体的な修得目標】

専門職業力→→→→職業の本質や目的を理解し、専門職としての基礎力と、現場が求める技術を実践する能力。

社会人基礎力→→→→社会人として必要なコミュニケーション力、一般常識、主体性、正確性。

高い職業意識と意欲→学んだ知識と技術を現場で統合・実践することを通して、専門的な知識の習得並びに望ましい社会人像を明確にする。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、教育目標に掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及び

その他必要な科目を体系的に編成するとともに、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講し、下記の方針に基づきカリキュラム編成を行います。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職としての基礎力とは、自身の専攻（目指す職種）だけではなく関連する業界（職種）全体が理解・把握できる力を兼ね備えている事だと考えます。その為に、各専攻の専門科目に業界（職種）全体を理解する為の科目を加え、その内容を関連団体・企業からなる教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」についての方針

社会人基礎力は業界で求められるマナーの習得を基本とし、業界で求められるコミュニケーション力を養うため、ホームルームや講義を通じ業界スタッフとしてコミュニケーション力の必要性を自覚できるカリキュラムを編成します。

【3】「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

高い職業意識と意欲の育成の為に、学内での学びが業界でどのように活かされているのかをイメージでき、且つ実践できる環境を整える為、外部講師による特別講話や実習を取り入れたカリキュラムを編成します。それにより業界従事者としての意欲を高め、主体的に取り組めるようにします。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、「社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標としていることから、本校では下記のような学生を求めます。

- ①望ましい業界人像を自分なりに持ち、自己実現に向けた意欲のある人
- ②相手を思いやり、理解しようとする気持ちを持ち、主体性のある行動をとれる人
- ③基本的な生活習慣及び学習習慣が身についている人

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。